

緑の風

第13号

令和8年3月19日発行
寝屋川市立第三中学校
校長 三國 秀彦

1年間で支援いただき

ありがとうございました

保護者の皆様ならびに地域の皆様には、何かとお世話になり、ありがとうございました。日頃より、本校教育活動に深いご理解とご支援を賜り、大変感謝しています。

年度当初より計画通りに学校教育活動を進めることができ保護者の皆様や地域の皆様にも、6月の土曜参観や10月の体育大会、11月の「サンフェス」など、生徒たちが、がんばっている姿をご覧いただけたことが何よりでした。これまでも、学校だより『緑の風』や学年だより等で学校の様子をお伝えしてまいりましたが、これからも学校公開に努めてまいります。4月からは、新入生を迎え、新たなスタートを切ります。これまで以上に、子どもたちの姿をご覧いただけたらと思っています。

この1年間本当にありがとうございました。また、新年度からも子どもたちの成長を共に見守っていただけたら幸いです。今後も引き続き、保護者の皆様ならびに地域の皆様の厚いご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

第64回卒業証書授与式

3月13日（金）吹く風に寒さを感じるなか、第64回卒業証書授与式を開催しました。当日は、寝屋川市長 広瀬 慶輔 様をはじめ多くのご来賓の皆様に見送られ、卒業生190名は巣立っていきました。卒業生たちの引き締まった表情で、凛々しく立派に成長した姿に、感慨もひとしおでした。

式全体を通して、厳かで晴れの場にふさわしい卒業式でした。



3年生を送る会

3月6日（金）「3年生を送る会」が開催されました。生徒会が進行し、全校生徒が一堂に会する最後の場となりました。吹奏楽部の演奏や各クラブからのダンス動画が披露され最後に、在校生からの感謝の気持ちを込めた合唱で卒業生を送り出してくれました。

三中校区 標語コンクール

三中校区地域教育協議会が主催する「標語コンクール」において選出された作品です。校長室で表彰式を行いました。

	標 語	
優秀賞	人権は 生まれた時の プレゼント	1-2
入選	命より スマホが大事？ 事故するぞ？	1-1
入選	言の葉の 裏に隠れた 言の刃だ	2-1
入選	はっきりと いやならいやで いいんじゃない	2-3
入選	コンプレックス 自信を持って 個性やで	3-1
入選	花咲く時 不安混じりの 第一歩	3-2

◆4月当初のおもな行事予定◆

月	日	曜	行 事
4	6	月	小学校入学式
	7	火	入学式
	8	水	始業式 対面式
	9	木	離任式 身体計測
	10	金	給食開始 1年オリエンテーション
	13	月	クラブ紹介
	23	木	全国学力学習状況調査・市学習到達度調査

※日程については変更する場合がありますので、必ず、新年度の学校だより等で、ご確認願います。

◎4/8(水) 始業式の予定

- 8:20 開門、クラス発表後、各教室へ移動
- 8:40 各教室で担任による出欠確認、活動の指示
- 9:10 始業式
- 9:45 学活等（～10:30）

※始業式の終了時間によって、学活の時間は前後します

卒業生へのはなむけの言葉（抜粋）

第三中学校を巣立つ190名の卒業生の皆さん、卒業おめでとうございます。期待と不安を胸に、第三中学校の校門をくぐった入学式の日から皆さんと共に過ごした3年間は、期間にするとわずかですが、思い出は凝縮されて記憶に残っています。

体育大会では、予備日に開催することになりましたが、天候に恵まれ、秋晴れのなかでの競技になりました。皆さんは、競技だけではなく、事前の準備や当日の係の仕事でも後輩たちの見本となる働きをみせてくれました。

「サンフェス」での活躍ぶりにも目を見張るものがありました。実行委員会が中心となって企画・運営し、クラブや授業の作品展示、「屋台」の出し物など、工夫を凝らした素晴らしい発表ばかりでした。体育館での学年劇や吹奏楽部の演奏、有志によるダンスパフォーマンスなど、どれも素晴らしく、最高の一日になりました。参加してくれた校区の小学生たちも、きっと満足してくれたことと思います。

皆さんにとって、最も思い出深いのが、愛知・岐阜方面への修学旅行ではないでしょうか。初日は、明治時代の街並みが忠実に再現された明治村の見学でした。たいへん暑いなかでの見学になりましたが、皆さんは熱心に見学し、歴史を感じることができました。その日の夜は宿舎でのレクリエーション。宿舎前での打ち上げ花火は、迫力があり感動しました。2日目は、朝から古い町並みが残る高山での散策。午後は、長良川での豪快なラフティングで、スリル満点、笑顔があふれていました。最終日は、郡上市での選択体験学習。これまで経験したことのない貴重な体験ができましたね。天候に恵まれ、思い出に残る3日間でした。

皆さんは、各行事だけでなく、日頃の生活でも学習や委員会活動、部活動に全力で取り組み、後輩たちの見本となる活躍ぶりは、頼もしいかぎりでした。

ここで、皆さんに次の言葉を送ります。日本プロ野球界のレジェンドであり、アメリカメジャーリーグでも野球殿堂入りを果たされたイチロー選手が、語った言葉です。

「第三者の評価を意識した生き方はしたくない。

自分が納得した生き方をしたい。」

巣立ったあとも、様々な困難や進路選択に悩む機会が多くなるでしょう。そんな時には、この言葉を胸に「人からどう思われるか」ではなく、「自分がどうしたいか」の心がまえと覚悟を持って行動できる人であって欲しいと思います。

今日、皆さんは本校を卒業しますが、卒業は新たな『たびだち』の時でもあり、新たな『出会い』の時でもあります。この伝統ある第三中学校で学んだことを大切に、仲間との強い絆を胸に大きな未来に向かって、確かな足取りで歩いていかれることを願っています。これから先も、皆さんのことをずっと応援しています。